

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(7月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『給食室のいちにち』

大塚菜生 文／イシヤマアズサ 絵／ 少年写真新聞社

対象：幼児（5歳くらい）から高齢者



内容のご紹介

梅雨に入りましたが、毎日暑い日が続きます。体調はしっかり管理してください。

今月は「給食室のいちにち」をご紹介します。

学校給食の始まりは、明治22年に鶴岡市のお寺にあった小学校が無料で実施したのが始まりです。

私は、年一度町内の学校や関係施設を訪問します。給食室もその施設の一つで、給食をいただきます。子ども達も給食の時間が楽しいと思います。毎日の献立が変わり、喜びがあると思います。

何気なく毎日、食事を摂りますが、食糧は農業・水産・畜産等たくさんの人達が関わります。そして、大事なことは、食事を毎日作る人です。栄養士の先生がカロリーのバランスを考えて、子ども達のために成長を願い、愛情のこもった食事を提供しています。

社会では、お互いに支え合って感謝の心を持つことが大切です。子ども達も給食から学んでほしいと思っています。

病院の給食室に勤務経験がある、児童文学作家+おいしい食べもののコミックエッセイで人気の画家が、給食室の現場をリアルに再現！

給食はどうやってできるの？ 栄養士ってどんな仕事？身支度、検収、打合せ、調理、片づけ、食に関する指導、献立づくりまで、小学校の給食室と栄養士の現場をいきいきと描きます。安全でおいしい給食はどのようにして教室まで届けられるのか、楽しく学べる絵本です。

紹介文：偕成社／矢祭もったいない図書館